

ぐんま東毛労基通信

太田労働基準監督署

TEL (45) 9920

FAX (45) 5573

太田

TEL (46) 5774

FAX (46) 1544

館林

労働基準協会

TEL (72) 8890

FAX (70) 7622

大泉

TEL (62) 4334

FAX (62) 3619

目次

太田労働基準監督署長着任のご挨拶	2頁
㈱トーマク館林工場の働き方改革への取り組み	3頁
平成30年の県内の死亡災害発生状況	4頁
平成29年の県内の一酸化炭素中毒について	4頁
太田労働基準監督署人事異動	5頁
3月に発生した死亡事故に係る緊急要請について	6頁
ゴールデンウィークに連続した休暇を取得しませんか	6頁
協会だより	6頁

平成30年 年間標語

健康な心と体で安全作業
目指すは笑顔の無災害



着任のご挨拶

太田労働基準監督署

署長 光山正明

平成30年4月1日付けで太田労働基準監督署長を拝命いたしました、光山（こうやま）と申します。よろしくお願いいたします。出身は高崎市です。

太田労働基準監督署勤務は、平成2年度以来28年ぶりとなります。平成2年当時、太田労働基準監督署の周りには田畑が多く広がるなど、とてもどかな印象でしたが、最近では多くの建物が建ち並び、だいぶ風景が変わりました。また、管内をながめてみますと、鉄道においては、太田駅が鉄道高架工事に伴い新しく近代的な駅となり、板倉地区では新しい駅が設置されています。道路においては、北関東自動車道路が開通したほか、国道354号線につきましては高崎から館林まで新しく開通し、便利になりました。また、太田駅から南へ向かう職場までの通りでも、アーケードは無くなり明るく開放的な印象を受けているなど、時間の経過をしみじみ感じているところです。

さらに、管内の産業を見ますと、主要産業である製造業関係では工場が新たに増設されるなど好調な様子が見えがえるほか、建設業、運送業関係でも好調であると聞いています。

さて、最近の労働基準行政につきましては、働き方改革の一つである長時間労働対策など働き過ぎ防止に向けた取組の推進、労働災害防止対策、最低賃金額の周知徹底が重点課題となっているほか、労災保険給付の迅速処理もますます重要となってきましたので、しっかりと取り組んでいきたいと思っております。今後も引き続き、労働基準行政の一層のご理解ご協力を賜りますようお願いいたします。

最後に、各地区労働基準協会並びに会員事業場の皆様の益々のご発展を祈念申し上げ、挨拶とさせていただきます。

(株)トーモク館林工場の働き方改革への取り組み

株式会社トーモクは、東京に本社を置き、段ボール、紙器、住宅、運送等の事業を行う東証1部上場企業で、館林他16か所に工場、11か所に営業所等を有し、段ボールの国内シェア10数%、段ボール専門メーカーとしては国内トップの企業です。

今回は、館林市野辺町906-1にある館林工場で取り組んでいる働き方改革について取材しました。

館林工場は段ボールの生産工場で、従業員数176人、製造、販売、管理等の部門があり、従業員は主に製造部門に配置されています。生産ラインは全自動で、作業員は端末を使って装置のオペレーションや印刷製版の設計・制作等間接業務を主に行っており、工場に入った第一印象はさながら無人工場といったところです。

生産ラインは、平均的な工場の4倍ほどの能力があり(国内トップ)、1日に約200種類の段ボールを流しながら約20件の工程変更を組み入れるため、前日に作成した生産計画が跡形もなくなり、仕事の指示ミスや不良品対応等と相まって、4年ぐらい前までは多くの残業が発生していた。

そこで、3年程前に先進的なシステムを導入し、最適な生産計画を瞬時に立てられるよう業務の効率化を図った。その結果、20年以上のベテランでなければ立てられない業務計画がキャリアの無い人でも可能となった。また、作業員の生産装置のオペレート能力の向上を図ったことにより、不良品の発生率が激減した。このような業務の効率化、生産性の向上により残業が減少し、就業時間8時30分から17時30分の内、16時30分で生産を終え、後片付けをした後、17時からミーティングを始め、17時30分に業務を終了できるようになった。

残業時間の把握については、従業員がきちんと申告しない雰囲気は過去にはあったことから、古い体質を一掃することに努め、残業命令簿を作成し、本人のサインをもらい、出勤管理簿と残業命令簿の照合を行うことで確認をしている。

製品の運送についても、これまで外注先の運送会社の運転手に荷待ち時間が生じたり、積み込む製品の保管場所が見つげにくかったこと等から、拘束時間が長くなることに問題意識を持っていた。そこで、上記システムは、生産計画を立てると瞬時に配送計画も立てられ、製品の保管場所もわかるようにし、事前に運送会社に情報を流すことにより無駄な時間が生じないよう荷主として配慮した。また、配送先に対しても納品待ち時間が生じないよう協力を要請し、運転手の拘束時間の短縮を図ってもらっている。

有給休暇の取得率は事務系間接部門も含めて、ほぼ100%となっている。数年前から工場長命令で、年間計画を立て、全員が交代で5日間の連続休暇を取ることを義務付けている。前後の土日を入れると9連休になる。このようなことを可能にするため、10年程前から作業員の多能工化を図ってきた。同社オリジナルの技能検定制度を導入し、どのような作業にも対応できる7段階で最も上級のレベルA取得者は、5人に1人の割合である。

このように、残業を減らし、有給を増やしていても、むしろ生産性は上がっている。今後、更に福利厚生も充実させて、魅力ある職場にしていきたいとのこと。

平成30年の県内の死亡災害発生状況

群馬県内の平成30年1月からの死亡災害は、3月15日現在では、下表のとおり5件となっています。挟まれ・巻き込まれ災害が3件と60%を占めています。死亡事故については、すでに昨年(平成29年)の3月末現在の5件と同件数になっています。

番号	発生月 発生時間帯 労働者数	年齢 性別 職種	災害のあらまし	業種	事故の 型別	起因物別	署別
1	1月 10時頃 3人	60歳代 男 大工	歩み板等のない屋根上で、古いポリカーポネート波板を剥がす作業をしていたところ、波板を踏み抜き、約3.7m下の浄化槽に墜落しておぼれ溺死した。	建設業	おぼれ	屋根	高崎
2	2月 13時頃 16人	50歳代 男 作業員	コンクリート二次製品の出荷前作業で使用する機械を清掃していたところ、機械と機械可動部(プッシャー)の間に身体を挟まれ、死亡した。	窯業土 石製品 製造業	はさま れ・巻き 込まれ	その他の 一般動力 機械	中之条
3	2月 16時頃 70人	60歳代 男 作業員	太陽光発電設備の造成工事現場において、立木の伐採作業に従事していた被災者が、胸高直径(地上約1.2mの高さにおける円周の長さを3.14で割った平均直径)28cmの伐倒木の下敷きになり死亡した。	建設業	崩壊・倒 壊	立木等	高崎
4	3月 12時頃 24人	50歳代 男 作業員	ガラス繊維製のたて糸を直径10.5cmの鉄心(ビーム)に巻く作業において、巻き取られた糸のヨレを手袋をした手で修整したところ、糸とともに巻き込まれ、死亡した。	その 他の 製 造 業	はさま れ・巻き 込まれ	その他の 一般動力 機械	高崎
5	3月 10時頃 12人	30歳代 男 工場長	スクラップベーリングプレス(スクラップを圧縮成形する箇所)に立ち入り、詰まったスクラップ材を取り除いていたところ、当該プレスが起動し、蓋が閉まり、ピット内にいた被災者が挟まれ、死亡した。	清掃・と 畜業	はさま れ・巻き 込まれ	その他の 金属加工 用機械	太田

平成29年の県内の一酸化炭素中毒について

群馬県内において、昨年は一酸化炭素中毒による災害が4件と、近年では特に多発した年となりました。4件ともガソリンエンジン等内燃機関からの排気ガスによる中毒で、4件すべての災害が一度に3人以上が被災する重大災害となっており、被災者は合計で19人、このうち1名がなくなっております。

一酸化炭素中毒予防対策を、より一層推進していただきますようお願いいたします。

4件の災害発生状況は、次の通りです。

1 平成29年8月発生 8人休業

建設業者が、他社工場内で機械を据え付けるため、手押式コンクリートカッターを使用してコンクリート床面を破砕していたところ、約3時間後に周辺で加工作業していた工場労働者8人が排気ガスを吸入し、一酸化炭素中毒になったもの。

2 平成29年10月発生 1人死亡 2人休業

直径約3mの水路管(ずい道)補修工事において、労働者3人が内燃機関付き高圧洗浄機で道内壁を洗浄していたところ、排気ガスにより一酸化炭素中毒になったもの。

3 平成29年10月発生 4人休業

修理業者による機械搬入作業を発注事業場の労働者4名が手伝っていたところ、修理業者が使用した原動機付きアーク溶接機からの排出ガスにより、一酸化炭素中毒になったもの。

4 平成29年12月発生 2人休業 2人不休

地下1階のポンプ室において、労働者4人が内燃機関付き高圧洗浄機で温泉配管を洗浄していたところ、排気ガスにより一酸化炭素中毒になったもの。

太田労働基準監督署 4月1日付け人事異動



転入者 ーよろしくお願ひしますー

新 職 名	氏 名	旧所属・職名
署 長	光山 正明	局 監督課 主任地方労働基準監察監督官
監督課長	田中 克一	前橋署 第二方面主任監督官
監督課 一般監督官	新元 真之	太田署 労災課 一般監督官
監督課 一般監督官	若宮 悠作	(新規採用)
安全衛生課長	佐藤 祥子	中之条署 監督課長
労災課 労災認定調査官(併) 監督課	大川 久子	桐生署 労災・安衛課 労災保険給付調査官
労災課 労災保険給付調査官	青木 加寿美	局 労働保険徴収室 適用第一係長
労災課 補償係長	高松 幸子	高崎署 労災課 補償係長
労災課 補償係長	越田 進二	前橋署 労災第一課 補償係長

転出者 ーお世話になりましたー

旧 職 名	氏 名	新所属・職名
署 長	城詰 美智晴	局 労働基準部監督課 課長
監督課長	岩間 祐央	前橋署 第一方面主任監督官
監督課 一般監督官	早谷川 瑞希	沼田署 監督課 一般監督官
監督課 監督係	日野原 志帆	伊勢崎安定所 管理課 適用主任
安全衛生課長	荒井 教隆	高崎署 安全衛生課長
労災課 労災保険給付調査官	清水 勉	高崎署 労災課 労災保険給付調査官
労災課 労災保険給付調査官	齋藤 仲二	桐生署 労災課 労災保険給付調査官
労災課 一般監督官	新元 真之	太田署 監督課 一般監督官

※ 局→労働局 署→労働基準監督署

3月に発生した死亡事故に係る緊急要請について

太田労働基準監督署

平成30年3月15日(木)に、太田市内の産業廃棄物処理工場で、工場長(39歳、男性)が金属スクラップ材を圧縮するスクラップベーリングプレス機械に全身を挟まれて死亡する事故が発生しました。昨年4月26日に発生した、太田市内の自動車部品製造工場の技能実習生が金属プレス機に頭を挟まれ死亡する事故と同様、大変衝撃的な事故となりました。

太田署管内で僅か1年間に、挟まれ災害による2件の痛ましい死亡事故が発生したことは、誠に遺憾なことです。

詳細は現在調査中ですが、再度、機械設備等の安全点検を実施し、労働災害のリスク低減になお一層努めていただきますよう、お願いいたします。

ゴールデンウィークに連続した休暇を取得しませんか

仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)のために、土日、祝日に年次有給休暇を組み合わせることで連続休暇にしませんか。5月1日と2日を休むと9連休となります。

地域ごとに夏休みなどの一部を他の日に移して、学校休業日を分散化する取組(キッズウィーク)が、平成30年度からスタートします。

厚生労働省群馬労働局雇用環境・均等室(Tel.027-896-4733)

《協会だより》

太田・館林・大泉

◇クレーン運転業務特別教育(5^{年以上}未満)

受付中

5月12日(土)(学科)

会場

太田労働基準協会2階講習室

13日(日)(学科・実技)

〃

坂本工業(株)別所工場

◇アーク溶接特別教育

受付中

5月19日(土)(学科)

会場

太田労働基準協会2階講習室

20日(日)(学科)

〃

〃

27日(日)(実技)

〃

(株)SUBARU本工場訓練校

◇粉じん作業特別教育

受付中

5月26日(土)

会場

太田労働基準協会2階講習室